離任式に代えて　～転退職者からのあいさつ～

熊谷　力豊

 ４年間、大変お世話になりました。この度、教員生活を終え退職となりました。大東中学校の生徒の皆さんをはじめ、保護者の皆様、ＰＴＡ・音体の皆様、同窓会の皆様をはじめ多くの皆様に感謝申し上げます。教員生活の最後に大東中学校に奉職させていただいたのはほんとうに幸運であったと思います。４年間本当に楽しく過ごさせていただきました。感謝申し上げます。思い返すと、自分が中学校の教員を目指したのは、中学生時代大東中学校で過ごした３年間がその後の方向性を決定づけたと思います。自分は大東中学校に育てて頂いたと思っています。就職したときから、いつかは大東中学校に恩返しをしたいと思っていました。微力ではありましたが、母校の少しでも力になれたならば幸いに思います。

　大東中学校に皆さんは、明るく素直で、優しい心を持っています。そして親切です。思いやりがあります。勇気と根気と根性があります。人の嫌がることも協力し率先して行ってくれます。勉強もよくします。進路実現をしています。体力があります。大きな声で元気よくあいさつができます。元気いっぱいに笑います。そのほかにもたくさんのいいところがあります。本当にいい生徒の皆さん達です。大東中学校は本当に素晴らしい学校だと思います。大好きです。そして感謝しています。これからもＯＢとして大東中学校を応援しています。本当にありがとうございました。

内藤　宣子

　７年間、大変お世話になりました。保護者の皆さんだけでなく、地域の方やOBの大先輩にも支えられ、充実した日々を過ごすことができました。吹奏楽部の演奏を立派だねぇ、頑張っているねぇと温かく声をかけてくださるおじいちゃんおばあちゃん、大切な楽器を中学生のために快く貸してくださった吹奏楽部OBの皆さん、合唱部が県大会出場を果たした時ご祝儀を持ってきてくださった大先輩、平日にもかかわらず松明制作をお手伝いくださった同窓会の方々………この７年間のほんの一例です。この温かく、熱い地域があるからこそ子供たちが素直にすくすくと育つのだ、やっぱり環境は人を育てるのだということを実感させられる毎日でした。勉強できました。ありがとうございました。

　生徒のみなさん。こんな形でお別れすることを悲しく思いますが、４月にはまた素敵な出会いが待っています。大丈夫ですよ。その出会いを大切に、今を大切に、また新たな気持ちで頑張ってください。今回のコロナ騒動は大変なピンチですが、皆さんにはがっちり支えてくれるお父さんお母さん、地域の皆さんがいます。「ピンチはチャンス」です。非常事態だけれど、萎縮することなく目の前の一つひとつにしっかりと取り組み、力を蓄えてください。

　たくましくなったみなさんと再会できること、楽しみにしています。

芳賀　祐子

　６年間大変お世話になりました。ずっと小学校での勤務経験しかなく、初めての中学校ということもあり不安と緊張の中、赴任したことを思い出します。しかし、赴任初日に大東中学校のみなさんの元気な挨拶とキラキラした笑顔、「ようこそ！大東中学校へ！！」という歓迎幕で、不安が一気に期待とワクワクへと変わったのです。その日に感じた気持ちは、ずっと６年間続きました。毎日楽しく勤務することができたのもみなさんのおかげです。そのみなさんの素直で優しい心を育てたのは、ご家族のみなさまをはじめ、地域の皆さま、大東の自然だと思います。感謝の気持ちを忘れず、思いやりを持って、これからも素敵な人であり続けてください。本当に今までありがとうございました。

松崎　公昭

　この度、晴れて講師から教諭という立場になることができました。中学生の頃からの夢であった先生という仕事に一歩近づけたような気がします。このような形でお別れすることになってしまい、残念です。しかし、大東中学校の２年間の勤務は自身の勉強の充実を図ると同時に、数々の経験と体験をすることができました。

　緑あふれ、飛行機雲のカーペットが敷かれた大東のグランドでの部活動は今もまた鮮明に覚えています。

　大東中生の皆さん、努力は嘘をつきません。努力をしていれば必ず誰かが救いの手を差し伸べてくれるはずです。なんとかなると考えている人に、誰が手を差し伸べてくれるでしょう。きっと努力している人には周りが手助けをしたいという気持ちになるはずです。むしろ手を借りずとも自分で道を切り拓くことができるはずです。何事にもチャレンジすること、諦めないこと、感謝の気持ちを忘れないことを胸に刻んで生活してください。

　皆さんの活躍が春風にのって聞こえてくるのを楽しみにしています。保護者の皆様、大変お世話になりました。子どもたちの教育活動に際し、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

酒井　亮太

　約半年という短い間でしたが大変お世話になりました。最近まで大学生だった私が年度途中からの赴任ということもあり不安と緊張でいっぱいでしたが生徒たち、先生方、保護者の皆様のお助けもあり、この半年間はこれからの教員人生でかけがえのないものになりました。

　大東中学校の生徒の皆さん、いつも様々な話をしてきましたが今回は「時計」について話をしたいと思います。時計には短針と長針がありますが、その二つの針が2時10分、3時15分の時どうなっているか思い浮かべてみて下さい、その時刻で二つの針は重なっていると思います、実は時計というのは1時間に1回短針と長針が重なるようになっています。但しその中で1つだけ例外があり11時台の時には重なりません、次に重なるのは12時の鐘が鳴る時です。皆さんは今、何かしらの目標に向かって努力していると思いますが、

つまり人生の11時台を過ごしているのです、その11時台も12時には針が重なって鐘が鳴るように皆さんの努力も必ず報われるときが来ます。その事を忘れずに1日1日を大切に過ごしていってください。

　成長した皆さんに再会できることをとても楽しみにしています。本当にありがとうございました。

関根　幸子

　大東中学校での６年間は、私にとって皆さんと出会えた事の幸せと、

沢山の思い出を作ってくれた事への感謝の気持ちでいっぱいです。

いつも元気な大東中のみなさん。

笑顔が素敵な大東中のみなさん。

心の優しい大東中のみなさん。

本当にお世話になりました。

そして、いつも助けてくれてありがとうございました。

４月より須賀川３中へ異動となりますが、地元に居りますので

見かけたら声をかけてください。

齋藤　英久

　わずか２年という短い期間でしたが、生徒の皆さん、そして保護者・ＰＴＡの皆様、地域の方々と共に大東中学校で過ごした時間は私の人生でかけがえのない時間となりました。

　４０代を半ばにするとなかなか新しいことに挑戦することは少ないのですが、昨年度は特別支援を学ぶために、松崎先生と共に数十年ぶりに大学生になりました。今年度は初めて担任外となり保護者の皆様や地域の方々と連携して中学校の活動、地域の活動を進めることができました。

　これらは様々な困難にくじけず、自分たちの力を精一杯に発揮し、額に汗し仲間と協力して活動する大東中生を見て、まだまだ私も成長しなければならないと思ったからです。文化祭などの学校行事、各委員会活動、そして部活動や日頃の授業において、生徒の皆さんの姿は何より私を勇気づけてくれました。本当に楽しい２年間でした。

　４月からは新しい地域、新しい職務での挑戦がまた始まりますが、この大東中卒業職員としての誇りをもって頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。